

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	地歴公民	科目	歴史総合	単位	2 単位
対象コース	進学・総合・美術	コース	対象クラス	1 年	2～9 組
使用教科書	詳述歴史総合 (実教出版)				
使用副教材	詳述歴史総合 マイノート 新課程版 (実教出版)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

国際関係から社会の編成、日常生活の具体的な姿や生産のあり方のなかから、世界と日本の歴史的なつながりを学ぶ。この過程は、「他者」の発見「他者」への共感、「他者」との共生の歴史を学ぶということでもある。このとき、「問い」を立てるという姿勢が大切である。「答え」を学ぶのではなく、歴史に向かって問いかける姿勢を身につけて欲しい。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

○近現代の歴史を「近代化」「大衆化」「グローバル化」という観点から着目し、世界と日本の動きを学ぶ。
・18～19世紀：近代化をメインに学ぶ
・20世紀前半：大衆化をメインに学ぶ
・20世紀後半～21世紀：グローバル化をメインに学ぶ

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業でパワーポイントを用いて説明された歴史用語や頻出重要文章を確実に理解するとともに、歴史の流れを把握することが大切です。板書事項や重要語句を正確にワークノートに記述することが求められます。

(2) 家庭

ワークノートは、教科書に準拠して作成してあります。予習として教科書の太文字を中心に目を通してきて下さい。家庭では地図や年表と照らし合わせることで、より深く近代史を学習することができます。また、テレビや新聞など各種の情報源がありますので、それらを活用することで知識の幅が広がり、深さも増すことでしょう。もし可能であればインターネット等を活用することもよいでしょう。各單元毎に宿題を課すので、必ず解答して提出しましょう。

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

- (1) 授業内容から作成された定期考査の成績で評価します。
- (2) ワークノートの取り組み状況を参考にして評価します。
- (3) 授業を受ける際の態度を参考にして評価します。
- (4) 課題の提出状況を参考にして評価します。
- (5) ワークノートの記述部分の内容等を評価ルーブックを用いて評価します。

評価における定期考査の割合

70 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

・基本的な歴史用語の暗記と歴史の中の因果関係や流れを理解できているかを評価する。

(2) 思考・判断・表現

・討論や発表、ワークノートの記述部分等を評価ルーブックを用いて評価する。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

・授業中の態度・作業への取り組み、発問への回答や長期休暇の課題の提出状況等で評価する。

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)



年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	世界史のなかの宗教	・世界三大宗教について学ぶ	○			
		第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動 イントロダクション 17世紀以前のアジアの繁栄、ヨーロッパの海外進出 1ヨーロッパの海外進出と市民社会	・アジア諸帝国と海域世界の繁栄について考える。 ・ヨーロッパの海外進出について考える。 ・中世ヨーロッパの秩序が崩れていくなかで、イタリア戦争、ローマ教皇からはなれる動きを示した宗教改革、三十年戦争などをへて、主権国家体制が確立されたとされる。17世紀以前のヨーロッパの「国家」について考	○	○		○
	5	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成 6イギリス産業革命 7アメリカ独立革命	・イギリス産業革命やアメリカ独立戦争は、どのようにはじまり、展開したのか考える。	○	○	○	
		8フランス革命とナポレオン	・フランス革命とウィーン体制のもとで、政治体制はどのように変化していったのか考える。	○			○
		9ウィーン体制 1019世紀のイギリスとフランス	・ナポレオン戦争とウィーン体制について考える。	○	○		○
		11イタリア・ドイツの統一	・19世紀後半のイギリス・フランス・イタリア・ドイツでは、どのような政治上の動きがみられただろうか。	○	○		○
		12東方問題と19世紀のロシア	・東方問題を通じて、ロシアやオスマン帝国にはどのような変化が生じたか考える。 ・オスマン帝国の衰退過程について考える。 ・ロシアの改革とその問題点について考える。	○	○		
	6	13アメリカの発展と分裂	・領土拡大の過程で、アメリカ合衆国ではどのような問題が生じたのか、独立後のアメリカ合衆国の発展とその過程で起きた南北戦争について考える。 ・ラテンアメリカの独立について考える。	○			○
		14世界市場の形成	・パクス=ブリタニカの形成と世界の緊密化について考える。	○			○
		第3章 アジアの変容と日本の近代化					
	7	15イスラーム世界の改革と再編 16南アジア・東南アジアの改革と再編	7世紀にムハンマドが説いたイスラームは、アラビア半島の統一につながり、征服活動をとめないながら世界各地にひろがっていった様子や特徴について考える。	○	○		
		17アヘン戦争の衝撃	・アヘン戦争で東アジア諸国はどのような対応をせまられたのか考える。 ・アヘン戦争とインド大反乱について考える。 ・日本の開国とその影響について考える。	○			○
		第4章 帝国主義の時代					

道徳

8	26帝国主義と世界分割 27帝国主義期の欧米社会 32アジア諸民族の独立運動 ・立憲革命	・欧米諸国は、なぜ帝国主義の政策をすすめたのかについて考える。 ・アフリカと太平洋の分割について考える。	○	○	○	
---	---	---	---	---	---	--

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

重視する評価の観点 CHECK

学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
9		第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 33緊迫する国際関係 34第一次世界大戦	・第一次世界大戦は、なぜ世界を巻きこむ戦争になったのだろうか。第一次世界大戦の全容や影響について考える。	○	○		
10		35ロシア革命とシベリア出兵 37ヴェルサイユ体制とワシントン体制	・ソヴィエト政権はなぜ人々から支持されたのだろうか、また革命が成功した背景にあったものは何であるか、ロシア革命の原因や経過について考える。 ・ロシア革命が世界に与えた影響を考える。 ・大戦後の国際秩序はどのような目的で構築されたのだろうか、第一次世界大戦後の国際秩序	○	○		
11		38西アジア・南アジアの民族運動 39東アジア・東南アジアの民族運動 40戦間期の欧米	・第一次世界大戦後、アジア各地で民族運動が活発になったのはなぜか。トルコやインドでは ・戦間期のヨーロッパの動き、とくにドイツの	○	○		
12		第6章 経済危機と第二次世界大戦 43世界恐慌 44ファシズムの時代 47第二次世界大戦とアジア太平洋戦争	・世界恐慌は各国の経済や人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。 ・世界恐慌と日本への影響について考える。 ・世界恐慌がイギリス・アメリカ・ソ連に与え ・ヒトラーのひきいるナチ党は何を主張し、どのようにして政権をにぎったのだろうか。 ・第二次世界大戦のはじまりについて考える。 ・アジア太平洋戦争について考える。	○	○		
							
		50国際連合と戦後世界 	・国際連合は設立の目的を下方にはにせしめた だろうか ・国際連合の成立と組織の内容について考える。 ・冷戦について考える。	○	○		
		51戦後と占領の始まり 53冷戦の開始 第3編 グローバル化と私たち		○	○		

--	--	--	--	--	--	--	--

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点	CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知 思 主	○△×

--	--	--	--	--	--

【SDGsの各ターゲットについて】

ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】

高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック



※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



※評価の観点

- 知 → 知識・技能
- 思 → 思考・判断・表現
- 主 → 主体的に学習に
取り組む態度

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン

